

引用・参考文献

- Barnard,C.I(1956). 山本安次郎, 田杉競, 飯野春樹訳, 新訳経営者の役割, ダイヤモンド社.
- 荻野雅(1998). 看護研究における組織文化の概念分析. 日本看護科学会誌, 18(3), 106-117.
- 浜本満, 浜本まり子, 太田好信他(1994). 人類学のコンセンサスー文化人類学入門ー2-16, 学術図書出版社.
- 樋口正昇(2010). 看護職はなぜ離職するのか. 看護白書. 13-18 日本看護協会出版会.
- 井部俊子, 中村綾子, 伊東美奈子他(2012). ヨーロッパと日本の交代制勤務 看護師の健康的な働き方を考えよう. 日本医療・病院管理学会第 308 回例会資料.
- 稲田久美子(2006). 看護組織における組織文化の概念分析. 日本看護科学会誌, 26(2), 23-30.
- 稲田久美子(2008). 看護組織における組織文化の測定尺度の妥当性の検証 - フィールド調査結果との比較から -, 日本赤十字広島看護大学紀要, 8, 11-19.
- Johnni,HRichard,G. S. (2011). Case-control study of shift-work and breast cancer risk in Danish nurses:Impact of shift systems.
<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0959804911005016>[2012-04-19] .
- Kawachi,I, Colditz,G. A, Stamper M.J.et al. (1995). Prospective study of shift work and risk of coronary heart disease in women. Circulation, 92, 3178-3182.
- 加護野忠男(1988).組織認識論. 千倉書房. 108.
- 楠田丘(2011). 日本の人事・賃金制度の今日的動向. 井部俊子, 中西睦子編. 看護管理学習テキスト第 2 版看護における人的資源活用論. 日本看護協会出版会. 193-195.
- 厚生労働省(2005). 第 3 回「第六次看護職員需給見通しに関する検討会」.
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2005/12/s1226-5.html>[2012-04-18] .
- 厚生労働省(2007). 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章.
<http://www.cao.go.jp/wlb/government/pdf/charter.pdf>[2013-01-17].
- 厚生労働省(2011). 看護師等の「雇用の質」向上に関する省内プロジェクト報告書.
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001fog4-att/2r9852000001foyp.pdf>
[2012-04-16].
- 真壁幸子(2008). 英国における医療職の労働衛生管理の現状 - 看護職を中心に -. 秋田大

- 学医学部保健学科紀要, 16(1), 72-76.
- Michel,C. (1974). On the Concept of Sub culture .British Journal of Sociology, 25, 428-441.
- 中島美津子, 森山美知子(2008). 看護師の労働環境改善を進めるオーストラリアの看護事情第3回患者対看護師比4対1の確保と残業させない制度・多様な勤務体制. 看護, 60(8), 99-103.
- 日本看護協会(2006). 潜在ならびに定年退職看護職員の就業に関する意向調査報告書.
https://www.nurse-center.net/html1/sm01/SM010801_S1801.html[2013-01-22].
- 日本看護協会(2009). 病院における看護職員需給状況調査.
http://www.nurse.or.jp/up_pdf/20120704124707_f.pdf[2013-01-22].
- 日本看護協会(2009). 看護職員実態調査.
http://www.nurse.or.jp/up_pdf/20120704124559_f.pdf[2013-01-23].
- 日本看護協会(2010). 2010 年病院看護職の夜勤・交代制勤務等実態調査.
http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/shuroanzen/jikan/pdf/02_05_09.pdf[2013-01-22].
- 大鳥和子, 横山利枝, 開田ひとみ(2009). 看護職の勤務計画表作成の現状と課題 - 勤務計画表における看護管理者の役割 -. 看護実践の科学, 34(12), 68-72.
- 小原久美子(2007). 現代組織文化論研究 経営学における組織文化論の過去・現在・展望, 白桃書房. 28.
- Schein,E. H. (1985). 組織文化とリーダーシップ. 清水紀彦他訳(1989). ダイヤモンド社. 3-186.
- 財団法人日本医療労働会館(2011). 2011 年度夜勤実態調査.
- 坂口桃子(2011). 女性のキャリア開発 看護師とワークライフバランス. 井部俊子, 中西睦子編. 看護管理学習テキスト第2版看護における人的活用論. 日本看護協会出版会. 36-37.
- 佐々木司(2011). ルールがわかれば変わる看護師の交代制勤務,看護の科学社.
- Thompson,J. (1989). Stress sense, Nursing Times, 85, 20.
- Tylor, E. (1871). 日屋根安定訳(1962). 原始文化, 1, 誠信書房.
- 出口将人(1999). 組織文化論の展開(1), オイコノミカ, 35(34), 275-287.
- 渡邊里香, 荒木田美香子, 清水安子他(2011). 若手看護師における退職の予測要因の検討,

日本看護管理学会誌, 15(1), 17-27.

山崎慶子, 嶋森好子, 浅川明子他(1996). ナーシング・マネジメント・ブックス 5, シフトワーク・マニュアル. 日本看護協会出版会.

山内桂子, 高橋知子, 原田賢治(2011). 看護における医療安全の推進 論点 1: 医療安全推進の経緯と現状. 井部俊子, 中西睦子編. 看護管理学習テキスト第 2 版看護マネジメント論. 日本看護協会出版会. 119-127.